

校長だより 5月号



1年のスタートの中で

校長 柴田 雅之

桜の花びらが、校門へと続く道をピンクに染めていた4月も終わり、きれいな新緑がまぶしい5月になります。子どもたちは、この1カ月間、新しい学年、クラスで、1年のスタートを切りました。学年目標やクラス目標を決める中で、みんなでこんな1年にしていきたいという希望を抱き、前向きな気持ちで一日一日を過ごしているように感じられます。先日の授業参観・懇談会へのご出席ありがとうございました。お子さんの様子、クラスの様子はいかがだったでしょうか。子どもたちが、安心安全に、明るく元気に成長していけるよう努めてまいります。学校説明会として、動画にてご挨拶させていただきましたが、「**大好き千代ヶ丘 自分から〇〇のために やってみよう!**」という「千代っ子みんなの目標」を子どもたちに伝えました。〇〇の部分には、自分、友達、家族、クラス、学校、町、自然、地球などが入ります。誰かのために、何かのために自分から動ける人になってほしいと思います。

さて、先日新入生を迎えての「入学おめでとう集会」が行われました。1年生から6年生までの全校児童が、初めて体育館に集まりました。どの学年も、1年生のためにクイズやダンス、合唱や合奏などを工夫して披露していました。見ていて感心したことは、やっている方も、見ている方も、とても楽しんでいるということです。やらされているのではなく、自分たちで作り上げようという気持ちが伝わってきました。6年生の合奏に対しては、1年生の顔が真剣になりました。いろいろな楽器を演奏する姿は、1年生にとっては、すごくカッコいいお兄さん、お姉さんなのでしょう。そんな1年生も5年後には、立派な6年生になるのだと思うと、小学校の6年間の成長はすごいものだ改めて感じ入りました。

ここまで一生懸命に頑張ってきた子どもたちですが、その分疲れがたまっているかもしれません。ゴールデンウィークは、お出かけやゆったりする時間などで、リフレッシュできるように過ごしてほしいと思います。長期予報によると、今年もこれから暑くなっていくようです。少しずつ暑さに体を慣らしながら、健康に過ごせる体づくりをしてほしいと思います。

〈お知らせ〉

昨年度までも、放課後の校庭開放は行っていましたが、今年度より「みんなの校庭プロジェクト」として、川崎市全体で学校の校庭開放を行っていきます。そのやり方については、学校ごとに多少違います。本校においてのやり方については、別紙にてお伝えします。ルールの中で楽しく放課後の校庭を使ってほしいと思います。

昨年度に引き続き、区役所より送られてくる「あっ、そうなの!麻生区長寿日本一」を、学校だよりや保健だよりにて掲載していきます。

「今年は、川崎市制100周年です。ちなみに、川崎市の100歳超の方は1048人、うち、243名が麻生区の方です」